

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	経営工学特論	
科目基礎情報							
科目番号	83012			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	経営情報工学専攻			対象学年	専1		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	授業でつかうプレゼン資料						
担当教員	挾間 雅義						
到達目標							
・ 経営管理、販売管理についてやや難しい知識を理解し、応用できる。 ・ ビジネスプランについては自主的かつ発展的にチームをリードしながら構築できる。 ・ 経営工学手法を理解し、モデルを作成することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安 (優)	標準的な到達レベルの目安 (良)	最低限の到達レベルの目安 (可)	未到達レベルの目安 (不可)			
経営系知識の習得	経営管理・販売管理について、やや難しい知識を有することができ、発展的に応用できる	経営管理・販売管理について、正しく理解でき、応用できる	経営管理・販売管理について、ある程度の知識を有し、すこし応用できる	経営管理・販売管理について少しの知識しか有さず、応用もできない			
ビジネスプランの構築	ビジネスプランを自主的かつ発展的にチームをリードしながら構築できる	ビジネスプランを自主的に構築できる	ビジネスプランを定められた書式の範囲内で構築できる	ビジネスプランを構築できない			
スケジューリング、コスト、人月計算	経営工学手法を用いてやや複雑なモデルを作成することができる。	経営工学手法を理解しモデルを作成することができる	経営工学手法の基本部分を理解できる	経営工学手法を理解できない			
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	応用的な内容を扱うため、少し難しいと思うかもしれないが、わからない部分はまず、自分たちで調べ、次に教員に質問することで解決させておく必要がある。半期の中で講義とグループワーク形式により、他高専間の学生と交流し、コミュニケーションを取りながら、いろいろな視点で経営管理工学の内容を理解する。						
授業の進め方・方法	・ 資料を配布 ・ スマートボードで授業をおこなう。 ・ グループで課題に取り組む						
注意点	他高専生との交流形式で授業をおこないますので、楽しみながら取り組んでください。本科の経営工学、マーケティング論、生産管理論の理解をしておくこと。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	連携教育に関するガイダンスと遠隔チーム編成	・ 授業の進め方について理解できる。 ・ 遠隔チーム編成が構築できる。			
		2週	企業経営の基礎概念の復習	・ 企業経営の基礎を理解し、起業・創業の基礎を理解できる ・ ビジネスプラン作成方法を理解できる。 ・ 市場調査、プロモーションミックス、AIDMAを理解できる。			
		3週	販売管理ワークショップ (WS)	・ 広告に関するワークショップ (WS) を通じて、遠隔グループワークを実践できる。			
		4週	ビジネスプラン作成WS ①	・ テーマを理解し、市場調査方法、原価計算手法、利益計画立案方法を理解することができる。			
		5週	ビジネスプラン作成WS ②	・ 仮想商品の市場調査を実施できる。 ・ 原価を想定し、利益計画を立てることができる。 ・ チームで役割分担し、チームワークができる。			
		6週	ビジネスプラン作成WS ③	・ ビジネスプランを発表することができる。 ・ ビジネスプランをレポートにまとめることができる。			
		7週	中間発表会	・ グループ内で担当を割り当てて制限時間内に発表できる。			
		8週	スケジューリング手法WS ① (経営工学手法とは、アローダイアグラム)	・ 経営工学手法にはどのようなものがあるのかを把握できる ・ 先行作業に基づいてアローダイアグラムの作成が出来る			
	4thQ	9週	スケジューリング手法WS ② (日程計画法の指標)	・ 日程計画法に必要な時間を求めることができる。			
		10週	スケジューリング手法WS ③ (プロジェクトマネジメント 人月計算)	・ 各作業に必要な工数や要員を求めることができる。			
		11週	スケジューリングWS ① (ガントチャート、グループワークの取り組み)	・ 他高専と連携して、実用可能なスケジュールテーマを設定し、その内容について議論することができる			
		12週	スケジューリングWS ② (グループワークの取り組み②、筆記試験について)	・ 他高専と連携して、実用可能なスケジュールテーマを設定し、その内容について議論することができる			
		13週	期末発表会 (グループが少ない場合は筆記試験対策)	・ グループで担当を決め、制限時間内で説明できる。 ・ (筆記試験で出題される内容の知識を理解し、応用することができる)			

		14週	期末発表会		・グループで担当を決め、制限時間内で説明できる。
		15週	定期試験		
		16週	試験返却		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	口頭発表	筆記試験	レポート	合計	
総合評価割合	40	40	20	100	
知識の基本的な理解	30	10	0	40	
思考・推論・創造への適用力	10	30	5	45	
汎用的技能	0	0	5	5	
態度・志向性（人間力）	0	0	5	5	
総合的な学習経験と創造的思考力	0	0	5	5	